

# 太陽光発電システム(PVS)における

1. 検電の注意点
2. 金属筐体部の安全確認方法

## について

2019年7月17日

 長谷川電機工業株式会社

Copyright © 2019 HASEGAWA ELEC. CO., LTD.

## 始めに

太陽光発電システム(PVS)の直流電路は、パワコンや開閉器のオン・オフ状態により、**DC非接地回路**になる場合があります、このとき電路の**対地電圧は不安定**になります。

この状態では**対地間を検出する検電方法では、電路の充電の有・無を正しく判断できません。**

PV設備に対する検電について実証を行い、使用方法を整理しましたので、正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

項目	注意点	詳細ページ
1. 検電の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PVSのDC回路はPCS(パワコン)の運転状態や開閉器のON・OFF状態によりDC非接地回路になる場合がある。</li> <li>・DC非接地回路の対地電圧は安定しない。 (対地電圧を検出・測定すると変化する)</li> </ul> <p><b>DC非接地回路の充電の有・無を確認するには線間電圧を検出・測定することが必要です。</b></p> <p>(検電器によっては接地線がプローブ状になっていないため、線間電圧の検電を行うのは不適なものもあります。 線間電圧測定用の電圧計のご使用を推奨いたします。)</p>	P.4 ～ P.9
2. 金属筐体部の安全確認 方法	<p><b>PVSの電圧に応じた絶縁用保護具を着用し、</b> <b>作業者の近くの大地に直流用検電器の接地線を接続し、</b> <b>金属部に先端検知部を接触させて検電してください。</b></p> <p>検電器が充電表示しないとき、金属部と大地間の電位は低く、安全な電圧と判断できます。</p> <p>(ただし、日射強度の変化により電圧も変化します。日射が強くなった場合は、電圧も高くなるので注意が必要です。)</p>	P.10 ～ P.18

＜金属筐体部の安全確認方法＞

PVサイトの金属部に、漏電などにより電圧が発生していないことを確認する方法  
検電器で作業者の立っている大地と金属部間の電位差を検出する

P4以降のご閲覧については、お手数をお掛け致しますが、  
会員登録をして頂きますようお願い致します。

ウェブサイトのこちらをクリックしてください

